



◆2007. 10. 23 発行◆

第5号

発行「トゲチヨ会津ネットワーク」事務局
国土交通省阿賀川河川事務所工務課
NPO法人会津阿賀川流域ネットワーク
〒965-0830 会津若松市西年貢1丁目7番45号

本号4ページ

会、行事日程	1
詳細 その1、その2	2
詳細 その3、その4	3
活動、その他	4
あががわ流域学講座～ウソ鳴き～	4

雪融けとともに毎日が暑く、夏では猛暑、猛暑で人間はグッタリでしたが、湧き水は枯れることもなくトゲチヨは普通に夏を過ごしたようです。自然の大きさと深さに改めて感動しました。



おまたせしました！

本年度の事業計画の細部が決定しました！！

まずは、

10月29日（月）、30日（火）

湧水保全フォーラム全国大会、出席

続いて、

11月6日（火）

喜多方市高郷町、只見川にて観察会

そして、

11月25日（日）

会津大学にて「会津の水環境を考えるシンポジウム」

そして、そして、

12月1日（土）、2日（日）

福井県大野市「イトヨの里」先進地見学会

などが、当面の取り組みです。各事業の詳細は次のページから。

お知らせ

本年（平成19年）8月3日に環境省よりレッドリストの見直しがあり、発表されました。ネットワークが水環境の指針としているトゲチヨ（イトヨ）は、今までどおり、レッドリストの掲載種です。種は、絶滅のおそれのある地域個体群という位置にあります。その基本概念は、地域的に孤立している群で、絶滅の恐れが高いものとされています。改めて、会津に生き続けてきたトゲチヨを大切にしたいものです。

詳細その1

10月29日（月）、30日（火）〔大会参加〕

湧水保全フォーラム全国大会 in 越前おおの。10月29日、30日福井県大野市、学びの里・めいりん会場にて行われる大会に当会の活動をポスター（90cm × 200cm. 2枚）にて発表をすることになりました。会より数名参加の予定です。

このフォーラムは、水資源・水環境の保全に関わる全国の諸団体の方々の発表の場にもなっているものです。毎年度、全国各地で開催されるものです。

詳細その2

11月6日（火）〔トゲチヨの観察会と高郷資料館研修〕

只見川にトゲチヨがいるよ。で、驚きのニュースになった高郷町西羽賀地区にて、地元のイトヨの観察と自然保全に取り組まれている当会、会員の高郷町自然を守る会の皆さんの御案内で実現した事業です。

（場所）高郷町西羽賀橋左岸にて会員により駐車等誘導で。（9：30より）

10：00観察開始（ボートに乗る場合もあるので、濡れるかも？）

（着替え、タオルはあったほうがよいのでは？）

12：00昼食、参加者で用意のこと（飲み物も含めて）。公民館借用。併せてミニ学習会。

13：30高郷・化石資料館見学

会津の地質時代の生きものが化石になって展示されています。第三紀層・荻野の切り石場の近くです。

資料館を観て現地解散とします。

（注）西羽賀橋は国道49号、塔寺・気多宮より荻野、西会津につながる途中只見川に架かる橋です。

参加希望の方は、トゲチヨ会津ネットワーク事務局（TEL 0242-28-1299）までご連絡下さい。ご連絡の面倒な方は直接現地までおいで下さい。

☆☆印が
集合場所
です。

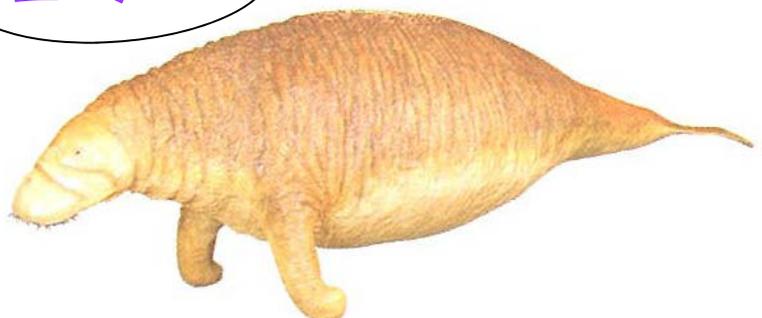


集合場所はこの橋を
渡った左手です。

高郷村郷土資料館では、写真のような海牛が
かつて泳いでいたのを確かめられます。

驚きに会いましょう。

エーッ！！



詳細その3

11月25日(日) 12:30受付開始、13:00開演

シンポジウム「会津地域の水環境を考える」

場所：会津大学、講堂

講師：日本大学工学部の教授、中村玄正先生。



中村玄正 先生

先生は中性化へ進む猪苗代湖の水質調査をはじめ、河川・湖沼の水質研究者でとても著名な方です。

また、当日は身近な川を調べた小学生(城西小・謹教小)の川や水への思いや気づきの発表も予定されております。

映画「ハリヨの夏」

ハリヨを通して成長をしていく少年を扱った映画です。

※ハリヨとはトゲチヨと同じトゲウオ科の魚です。

この映画(99分)の上映も予定しています。

詳細その4

12月1日(土)、12月2日(日) 先進地見学会

福井県大野市を訪ねます。国指定天然記念物：本願清水イトヨ生息地や学習施設イトヨの里などを見学します。

福井までは高速道路を使っても、会津からは7時間余の行程になります。長い道程ですが御辛抱下さい。大型バス1台を使用します。参加は先着申込順とします。定員40名です。

行程を考え、朝出発・夜到着が予想されます。

また、一泊宿泊費他、個人に係る費用は全て個人での負担となります。集合場所、出発時間、宿泊費などは参加申込者に直接お知らせいたします。個人でいくには少し遠いところですが、いっしょに行きませんか。

応募受付は、11月1日(木)より

トゲチヨ会津ネットワーク事務局 TEL 0242-28-1299

までお願い致します。

本願清水のイトヨ



イトヨの里



会の動き

しばらく、会報、トゲチヨ通信をお休みをしてしまいました。
ナカナカ、予算や計画、実行とうまくかみ合わず、全てが遅くなってしまいました。
申し訳ありませんでした。会報はお休みをしてもいろいろと動きがありました。

会津坂下町天然記念物指定地をもつ青木地区の新集落案内図に、トゲチヨが堂々と加わりました。



青木地区新集落案内図

わ～い。
僕も有名になっちゃった～。

また、生息地の説明文も新しくなり、よりわかりやすくなりました。



生息地説明文

※この事業は全て青木地区の方々の善意によるものです。

9月2日（日）南会津町川島地区のトゲチヨ生息地に、会津坂下町教育委員会さんと青木地区の方々（20数名）が視察されました。



川島地区視察会

尚、この視察には南会津川島地区でトゲチヨの保全活動をしておられる会の渡部芳加さん、室井藤夫さんをはじめ、地区の方々のお手伝いがありました。



川島地区視察会

トゲチヨ元気だなあ

あかかわ 流域学講座

新潟のバンダー・矢部健吾氏がキジバトはウソ鳴きをしますよと言う。そこでハトを見ていたら木にとまり、デデッポップと鳴いた。鳴きおわると急に首をすくめてキョロ、キョロとする。あたかもカクレンボをする子どものようである。早く私を見つけて・・・ワカル・・・といった動作をする。樹上は微笑ましく楽しそうである。

水の中のトゲチヨも悪戯をしたり、隠れたり微笑ましくしているのだろうか。年魚ゆえあつてもとても短い時であろう。同じ生きもの、水の中とて微笑ましくあってほしい。

“鳴き”でなく“泣き”だとしたらそれは全てに重く辛い。 (坂下 諭)

第6回 ウソ鳴き